



第627回抄録委員会（1月16日）

本誌4月号に掲載する外国文献の抄録内容及び海外文献目録の和文題名について審議した。

平成20年度水道施設管理技士資格試験（1月18日）

平成20年度水道（浄水・管路）施設管理技士2級及び1級の資格試験を全国7会場（札幌市、仙台市、東京都、名古屋市、大阪市、広島市、福岡市）で実施し、668名が受験した。

水道GLP認定証授与式（1月19日、2月10日）

水道GLP認定委員会で認定が決定した下記の水質検査機関の認定証授与式を日本水道協会専務理事室において行った。



1月19日 財団法人 中部微生物研究所



2月10日 財団法人 岡山県健康づくり財団

第122回労務調査専門委員会（1月23日）

初めに「東京都水道局における技術継承の取り組み～研修・開発センターの設立～」と題し、東京都水道局研修・開発センター 内藤研修課長より講演いただいた。

次に情報交換事項5題について、それぞれ意見交換を行った。

平成20年度水道技術者専門別研修会（水質管理部門）（1月26日～1月30日）

72名の参加を得て「水道概論（衛生管理含む）」「水質管理（原水・浄水）」「水質管理（送・配水）」「精度管理と成績表示」「理化学試験（一般性状・非金属・金属）」「生物試験・微生物試験」「機器分析（理論）（IC、原光吸光、ICP、TOC、ICP/MS）」「機器分析（理論）（GC、GC/MS、HPLC、LC/MS）」「理化学試験（有機物）」について研修を実施した。

なお最終日午後、受講者より質問を寄せて「自由討議」を行った。

第262回理事会（1月27日）

御園専務理事が議長となり、はじめに報告事項1「平成21年度水道関係予算について」、補助金関係については粕谷厚生労働省水道課長、海野厚生労働省水道課課長補佐より、起債関係については森総務省公営企業経営企画室課長補佐よりそれぞれ説明があった。続いて、報告事項2「日本水道協会第77回総会会員提出問題の処理状況について」、報告事項3「日本水道協会第60回全国水道研究発表会における水道フォーラム企画について」、報告事項4「八戸市域における導水管1200mmの漏水事故について」、報告事項5「震災対応等特別調査委員会報告」について、それぞれ事務局より提出した資料に基づき説明を行い、報告のとおり了承された。

続いて議案の審議に入り、第1号議案「日本水道協会第78回総会の開催期日及び会場について」、第2号議案「平成20年度日本水道協会会計予算の補正について」が順次上程され、それぞれ事務局より説明を行った後、審議の結果、原案どおり決定した。



第5回水道の安全保障に関する検討会（1月27日）

水を巡る問題が様々な場で議論されていることを踏まえ、「水道の安全保障に関する検討会」を設置し、今後の日本の水道事業のあり方、並びに今後の国際活動のあり方について検討を進めている。

1月27日に開催された第5回の検討会では、検討会が行う提言内容について審議した。



水道施設耐震工法指針・解説改訂特別調査委員会第3回総論専門委員会（1月27日）

現在改訂作業を行っている「水道施設耐震工法指針・解説」の総論原稿（案）について、総論各ワーキンググループのリーダーによる改訂ポイントの説明をもとに審議した。

また、今後の作業スケジュールについて事務局より説明した。



第93回機械・電気・計装専門委員会（1月27、28日）

「水道施設におけるエネルギー対策の実際」の発刊に向けて、原稿の最終審議を行った。また、平成21、22年度の検討項目についても審議を行った。



第33回水道 GLP 認定委員会（1月27日）

旭川市水道局及び財団法人 岡山県健康づくり財団の水道 GLP 認定について審議を行い、審議の結果、水道 GLP 認定を決定した。

第132回水道事業管理者協議会（1月28日）

はじめに、情報交換事項として、①都市計画法第34条第11項の規定等により建築する自己用住宅における水道施設の取扱いについて②水道水源地域における不法投棄防止対策について③市町村合併に伴う調整項目の整理状況について、それぞれ意見交換が行われた。

その後、（株）日水コン 鈴木水道本部長より「水道広域化についてーその経緯と最近の動きー」の講演が行われた。



第872回会誌編集委員会（1月28日）

本誌2月号、3月号の編集方針、投稿原稿の審査、新規原稿の取扱い並びに水道協会雑誌の編集企画について審議した。

第29回府県営水道連絡協議会（2月4日）

はじめに、議題①「副座長の選任について」を上程し、大阪府が副座長として選出された。その後、情報交換事項として、①水道料金算定における留保資金及び企業債の取扱いについて②「水道料金算定要領」改定に伴う資産維持費の算入見直しについて③「浄水場の保守業務」にかかる設計歩掛りと発注方法について④監視制御システム更新の契約状況について⑤耐震診断及び耐震設計委託の歩掛設定について⑥修繕費及び修繕引当金の計上について⑦外郭団体等について⑧受水市町村とのソフト系連携事業について⑨一般競争入札の拡大について⑩緊急用資材の備蓄について、それぞれ意見交換を行った。



平成20年度水道技術者専門別研修会（導・送・配水施設の設計施工と維持管理部門）（2月2日～2月6日）

99名の参加を得て「水運用計画（合理的な水運用、送配水施設の運転、配水調整の基本ほか）」「導送配水施設の整備（送配水施設の概要、送配水方式、管路布設計画ほか）」「導送配水施設の維持管理（管路の維持管理、図面等の情報管理、災害及び事故対応ほか）」「施設の設計（施設設計の概要、配水池、ポンプ場の機能・構造震災対策用貯水施設の設計ほか）」「導送配水施設の耐震化（法令・基準等、耐震診断・耐震化計画、施設・管路の耐震化ほか）」「管路設計及び施工の基礎知識（配管材料の特色、附属設備の機能と設置場所、管路の水理、管防護ほか）」「管路設計及び施工の実務（設計条件の確認、管路線形計画、管割図の作成、積算、工事監督ほか）」「東京の漏水防止」について研修を実施した。

第11回営業業務専門委員会（2月6日）

議題①「インターネットによるお客さまサービス及びコールセンターに関する調査の実施結果」について事務局より報告があり、審議の結果、一部修正の後、事務常設調査委員会に報告することが決定された。

その後、情報交換事項3題について、それぞれ意見交換を行った。

第2回 ISO/TC224上水道国内対策委員会（2月9日）

前回委員会及び第1回、第2回連絡調整小委員会の議事録を確認し、議事に入った。ワーキンググループ（WG）6（資産管理について）及びWG7（危機管理について）メンバーより第1回委員会以降の両WGの活動が報告され、今後とも国際規格作成段階で日本の意見を反映させるようにという意見があり、議事は終了した。

なお、当委員会設置についての詳細は本誌平成20年11月号に掲載されているので参考にされたい。



第628回抄録委員会（2月13日）

本誌5月号に掲載する外国文献の抄録内容及び6月号に掲載する海外文献目録の和文題名について審議した。